

令和6年能登半島地震被災港湾施設復旧技術検討会（第3回） 議事録概要

日時等：令和6年3月18日（月）14：00～15：00（WEB方式）

1. 主な議事

○事務局より復旧設計方針（案）について説明した後、意見交換を行った。

2. 主な意見

（1）復旧設計方針（案）について

○被災メカニズムの中に液状化が原因の一つとあるが、復旧設計の考え方では触れられていないため、液状化についての何らかの方針も追記した方が良い。

○復旧設計の考え方について、矢板式や栈橋式では新たに新設する場合も記載されているが、重力式については、現在の施設をそのまま残す場合しか記載されていない。傾斜が大きい場合等、流用が出来ないケースについても記載した方が良い。

○復旧設計方針の概要の資料の栈橋の被災後の図について、L型ブロックの背後からのみ土圧が作用しているように見えるが、実際は地盤から栈橋鋼管杭に対しても土圧が作用すると考えられるため修正した方が良い。

3. まとめ

○復旧設計方針については、本日の意見を踏まえ修正し、速やかに公表する。

—以上—